

## 12月24日(日) 第二礼拝「なぜ神様は人間とられたか」 ヨハネ3章16節

クリスマスは天地万物を造られた神様が、人としてこの世に来られた日です。どうして、神様が人となって来られたのでしょうか？

第一番目、父なる神様の愛を示すためです。神様は私たちを愛され、御子を送られました。それは、私たちが一人も滅びないためです。滅びとはサタンの口です。サタンは罪ある人間を支配し、食い尽くし、永遠の滅びに至らせます。「罪から来る報酬は死です。」(ローマ6:23)しかし、神様がイエス様をこの世に送ってくださったのは、罪から私たちを贖うためです。「この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」(マタイ1:21)

イエス様はベツレヘムにお生まれになりました。「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」(ヨハネ1:14)ベツレヘムはパンの家という意味です。馬小屋の飼葉おけに、永遠のいのちのパンとしてイエス様は寝かせられました。動物のように墮落したこの世に、イエス様は食べ物として来られたのです。「わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きています。またわたしが与えようとするパンは世のいのちのための、わたしの肉です。」(ヨハネ6:51)イエス様を信じることで罪の赦し、永遠のいのちを受けることができます。まさに、イエス様は神様からのクリスマスプレゼントです。

第二番目、揺るがない神の国を与えるためです。この世は揺り動かされます。それは、「決して揺り動かされることのないものが残るため(ヘブル12:27)」です。そして、私たちを最後に揺り動かすのは死です。しかし、よみがえりであり、いのちであるイエス様は永遠に揺り動かされることはありません。このイエス様を信じる私たちには、揺り動かされない御国が約束されています。

第三番目、イエス様は王となるためにお生まれになりました。「見よ。ひとりの王(イエス様)が正義によって治め、首長たちは公義によってつかさどる。」(イザヤ32:1)この世のリーダーは正しく治められません。また、この世は風当たりが強く生きていくのが困難な社会です。しかし、イエス様は私たちを導くためにお生まれになりました。イエス様こそ風を避ける避け所、あらしを避ける隠れ場であり、砂漠で水の流れ(癒しや憩い)を与え、かわききった地にある大きな岩の陰(雲の柱・火の柱)となり、守り導いてくださいます。私たちはただ主について行けば良いのです。そうするならば、目的地に着くことができます。

また、イエス様は人となって来られ、私たちと同様に試練や困難を通られました。ですから、私たちの弱さもよくご存じです。イエス様はいつも私たちと共におられ、ちょうど良い時に必要な助けや救い、癒しを与えてくださいます。「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。」(ヘブル4:15~16)アーメン！